



共通言語を持つことで 組織は強くなる

東京商工会議所の検定試験（東商検定）は
2021年度からIBT（インターネット経由での試験）に
変わります

2021年3月
詳細公表

東商検定は、ビジネスの現場で役立つ点が評価され、
企業や学校で人材育成ツールとして活用されています。

ビジネスの現場が大きく変化し、組織や人材の多様性が高まる中で、
強い組織として機能するためには、
共通の学びを通じて、共通言語を持つことが重要です。

東商検定は、組織内で共通言語を持つことに貢献します。

また、社会人の学び直し（リカレント教育）にも最適なツールです。
2021年度からIBTに変わる東商検定を人材育成ツールとしてご活用ください。

東商検定IBTの3つのポイント



**受験日時が
選べる！**

- 平日や業務時間内に
受験できます
(土日・祝日も受験可)
- 社員に受験を勧めやすく
なります



**即時採点ですぐに
合否が分かる！**

- 次のステップアップに
すぐに取り組みます
- モチベーションが
維持しやすくなります



**自宅や会社で
受験できる！**

- 時間を効率的に使えます
- 受験に向けた学習に
集中できます
- 「3密」を回避できます

東商検定IBT 概要 (詳細は、3月に公表いたします)

▼対象

- ・ カラーコーディネーター検定試験 アドバンスクラス、スタンダードクラス
- ・ ビジネス実務法務検定試験 2・3級
- ・ 福祉住環境コーディネーター検定試験 2・3級
- ・ BATIC (国際会計検定)
- ・ 環境社会検定試験 (eco検定)
- ・ ビジネスマネジャー検定試験

※上記対象の検定は、事前申込制(日時指定)です。

各検定1年に2シーズン受験期間を設けます(おおよそ6月~7月、11月~12月・検定ごとに異なります)。
また、受験は各検定・各級につき1シーズン1回限りです。

※ビジネス実務法務検定試験1級、福祉住環境コーディネーター検定試験1級については、
2021年度はこれまでどおり会場集合型の紙試験で実施いたします(2022年度よりIBTに移行予定)。

▼試験方式

IBT (Internet Based Test・インターネット経由での試験)

☞ 受験者ご本人のコンピュータでご受験いただく試験になります。

▼使用機器 (受験者ご本人にご準備いただきます)

- ・ インターネットに接続されたコンピュータ (PC)
- ・ コンピュータの内部カメラまたはwebカメラ
- ・ コンピュータの内部または外部のマイク
- ・ コンピュータの内部または外部のスピーカー

▼受験環境 (受験できる場所)

プライバシーが配慮され受験に適した環境であれば、どこでも可(公共スペースは不可)

東商検定IBT 受験の流れ (イメージ)

受験申込

- ・ 申込サイトより受験日時、受験者情報等を入力
- ・ 申込時にクレジットカードまたはコンビニ払いを選択
(コンビニ払いを選択した方は、期限までにお支払い)
- ・ 申込完了後、申込完了メールが届く

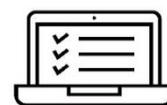


(試験当日) 試験開始

- ・ 受験サイトにアクセスし、メールアドレスとパスワードでログイン
- ・ webカメラを通じた本人確認を行い、試験開始
- ・ 試験中はwebカメラを通じてリアルタイムに監視し、不正行為を防止

成績照会

- ・ 試験終了後、即時採点された結果が画面に表示される
- ・ マイページでスコアレポートも印刷可
- ・ 有料で合格証も購入可



お問合せ

東京商工会議所 検定センター

☎ 03-3989-0777 (土日・祝休日・年末年始を除く10:00~18:00)

<https://www.kentei.org>

東京商工会議所
検定試験情報
ウェブサイト

